

柳津小学校だより

# 鳴神山



2018, 12, 10 No. 18

柳津町立

柳津小学校長



## 楽しかったね！スポーツ集会！！

12月3日（月）に体育委員会の計画によるスポーツ集会を実施しました。全校生が縦割り班で、リレーとドッジボールをトーナメントで競いました。ドッジボールではルールを工夫して、高学年は下から投げるルールだったので、全校生がとても楽しく取り組むことが出来ました。会津柳津学園中学校の体育館もお借りしたので、たっぷりとスポーツに親しむことが出来ました。



## 自分で作るお弁当の日

12月3日（月）は自分で作るお弁当の日でした。お家の人が作ったものをお弁当箱につめたり、お家の人といっしょにおかずを作ったり、高学年の中には全部自分で作ったりと、それぞれ工夫したお弁当を完成させてきたようです。どの子もにこにこ笑顔でお弁当を食べていました。朝のお忙しい中、保護者の皆様、ご協力、ありがとうございました。



## **お待ちしております！～二学期末授業参観&懇談会～**

12月13日（木）は、授業参観と学期末懇談会です。お忙しい中とは存じますが、ぜひご来校いただき、2学期になり、更に成長した子ども達の学習の様子をご覧いただければありがたいです。また、全体会や懇談会もごぞいます。懇談会におきましては、ぜひ担任との有意義な情報交換をしていただければありがたいです。

なお、お昼休みには、6年生の中学校制服の採寸が予定されていますので、併せてよろしくお願いたします。

### **教育界の動き**

2020年度から小学校の学習指導要領が変わります。今年度と来年度はその準備期間で、一部実施がスタートしています。「学習指導要領」というのは、いわば教師にとっての教科書のようなものです。文部科学省が約10年ごとに改定します。ではいったい何が変わるのでしょうか？

①授業時間が増えます。

小学校での外国語活動の学習開始学年が3年生になることもあり、3年生から6年生で授業時間数が増えます。柳津町ではスムーズに2020年度を迎えるための準備期間として、来年度から、中学年5時間、高学年10時間、外国語活動の時間を増やし、年間の授業時間が、中学年で20時間、高学年で60時間となります。2020年度には更にそこから、中学年で15時間、高学年で10時間授業時間数が増え、年間の外国語の時間が、中学年で35時間、高学年で70時間となります。

②英語の学習がスタートします。

小学校の3・4年生から外国語活動がスタートし、5・6年生は教科としての英語の学習がスタートします。3・4年生では「聞く」「話す」を中心に楽しくコミュニケーションをとることで、英語に慣れ親しむのが目的の「外国語活動」を実施します。「読む」「書く」の指導は必須ではなく、「教科」ではないので成績はつきません。5・6年生からは、「聞く」「話す」以外にも「読む」「書く」の4技能のバランスがとれた英語力を育てます。「教科」になるので、成績も付くようになります。「書く」「話す」力だけでなく「聞く」「読む」力もふくめた4技能のバランスが取れた教育へと変わっていきます。

③小学校でプログラミング教育が必修化になります。

プログラミング的思考とは、「目的をもって手順を考え、さらにその手順を見直すことで課題を解決する」という論理的思考のことです。これは、プログラミング技術を習得することを目的とはしておらず、問題解決には必要な手順があるなどの思考力を身に着けることが目的です。どの時間に組み込んでいくかは、これから学校で検討していきます。

その他にもありますが、紙面の関係で、またお知らせいたします。また、小学校のことではありませんが、2020年度から高校入試、大学入試も変わります。高校入試の現行入学者選抜制度からの主な変更点は以下のとおりです。

①現在のⅠ期、Ⅱ期選抜を統合した新たな選抜（前期選抜）を設け、さらにⅢ期選抜と同様の選抜を後期選抜として実施します。

②前期選抜と連携型選抜の志願者全員に学力検査を課します。

③前期選抜においては、各高等学校が「志願してほしい生徒像」を具体的に示し、各高等学校の特色に応じて実施する特色選抜と、中学校における学習活動の成果を総合的にみる一般選抜を行います。

大学入試では、センター試験に代わる「大学入学共通テスト」が導入されます。思考過程をみる問題や、記述式問題が導入され、英語の民間の外部資格・検定試験を活用するようになります。小学校段階でも変わる高校入試、大学入試に対応できるように、児童の活用力が高まるような授業づくりを行っていききたいと思います。